

選挙。ポスターの 公費負担削減へ

川口市、枚数引き下げ

川口市は市長選・市議選用のポスターの公費負担限度枚数を「ポスター掲示場の2倍」から「1・2倍」に改める方針を決めた。1日開会の市議会定例会に条例改正案を提案する。

市によると、改正は昨秋に合併した旧鳩ヶ谷市の条例が「1・1倍」だったことが直接のきっかけ。ポスター1枚当たりの単価設定

についても、国の新しい経費負担基準を適用する。

601カ所だった川口市のポスター掲示場は、合併に伴い、次回の市長選・市議選から695カ所前後に増える。改正後、単価の上限は818円から810円となり、公費負担限度額は候補者1人当たり約98万3千円から約67万5千円に削減されるといふ。

市選挙管理委員会は、「掲示場の2倍の枚数は不必要で公費の無駄遣い」といふ川口市民オンブズマン（村松幹雄代表）の指摘も念頭に置いたという。